

		事業名	目的・概要	評価項目（含、事業カルテ指標）	令和2年度 目標値	令和2年度実績 （11月末時点）	前年（令和元 年）度実績	補足説明・影響因子等	次年度目標
一般 介護 予防 事業	T F P P		フレイル（虚弱）の高齢者を早期に発見し、介護予防活動につなげることで、健康増進、介護予防を推進する。気づきから行動変容までを目的として、2段階の質問項目と4項目の測定により、身体の虚弱、低栄養、認知症、口腔機能、社会参加等のリスクを判定する。大学、介護予防リーダー等の市民と協働で取組める事業。	①全実施回数	31回	5回	24回	令和元年度 ・感染拡大防止の観点から、令和2年3月に予定されていた大規模会場2回、中規模会場3回、小規模会場1回の測定は中止とした。 令和2年度 ・令和2年度は8月より再開したが、大勢を参集することは困難であるため、既存の団体（再開した地域介護予防教室や近トレ）等で、感染予防を徹底し、短時間でこなせる方法に変更して（2020年度版）実施している。	16回
				小規模	12回	2回	12回		10回
				中規模	18回	3回	9回		5回
				大規模	1回	0回	3回		1回
				②年間延べ参加者数	--	81人	526人		--
	うんどう教室		運動を習慣化することにより、市民の介護予防を図ることを目的として、地域指導員が主体的に実施。乞田・貝取ふれあい広場公園、豊ヶ丘南公園に設置された運動遊具を活用したうんどう教室をそれぞれ月1回開催。 ・平成13年度より「豊ヶ丘南公園のうんどう教室」開始 ・平成24年度から「乞田・貝取ふれあい広場公園のうんどう教室」開始	①実施回数	24回	10回	22回	令和元年度 ・乞田貝取ふれあい広場公園 参加者実数：22人 延べ参加者数：173人 ・豊ヶ丘南公園 参加者実数：32人 延べ参加者数：220人 令和2年度（11月末時点） ・乞田貝取ふれあい広場公園 参加者実数：20人 延べ参加者数：59人（指導員参加者実数：9人） ・豊ヶ丘南公園 参加者実数：33人 延べ参加者数：67人（指導員参加者実数：9人） ※いずれも指導員含まない ・感染拡大防止の観点から4月～6月まで活動を休止した。 ・再開にあたっては、できるだけうんどう遊具を使用せず、室内バージョンの体操を主とし活動。コロナの影響で、1回あたりの参加者数が減少している。	24回
				②参加者実数	なし	53人	54人		--
				③延べ参加者数	なし	126人	393人		--
	うんどう教室 地域指導員養成		うんどう教室の運営、指導にあたるうんどう教室地域指導員の養成を行う。	①新規養成者数	--	--	4人	・現在、地域指導員は充足されているため、令和2年度は養成講座は実施せず。	--
				②累計養成者数（養成講座修了者数）	--	32人	32人		--
	地域介護 予防教室		介護予防リーダーが中核となって地域住民と開催する地域介護予防教室。「元気アップ体操」を共通のツールとしてを実施。市は運営費の補助とリハビリテーション専門職を派遣し支援を行う。	①教室数	15か所	15か所	14か所	・感染拡大防止のため、令和2年2月頃より6月までの地域介護予防教室は活動中止。7月から再開準備が整った教室から、感染症防止対策を講じ再開した。 ・令和3年1月現在は、緊急事態宣言によって15教室中13教室が休止、2教室が活動継続している。今後の活動についても、介護予防リーダーの意向を尊重しながら対応していく。	16か所
				②実施回数	各教室 月4回	239回	594回		各教室 月4回
				③参加者実数	なし	701人	1,020人		なし
				③延べ参加者数	なし	6,120人	20,124人		なし
	介護 予防 リーダー 養成		地域で介護予防活動を実施する介護予防リーダーを養成し、地域における介護予防事業を推進することを目的として実施。 介護予防と老年学、介護予防に必要な運動学などの全13回の講座を開催。	①新規養成者数	20人	16人	24人	・令和2年度は、コロナの影響により（予定より遅れて）令和2年10月から令和3年2月にかけてリーダー養成講座を実施。 ・感染症対策の一つとして、実習場所を変更し、市内の通いの場に限定して行った。 ・論文発表練習は会場ではなく、自宅で直接委託先と連絡を取り合う等に方法を変更して実施。	24人
				②累計養成者数	150人	146人	130人		170人
	介護 予防 ボランティア ポイント		高齢者がボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献を行い、自身の健康維持・介護予防を図ることを目的とする。ボランティアを行った方にポイントが付与され、ポイントに応じた交付金を支給する。	①登録機関	52機関	50機関	52機関	・ボランティア活動の場は、市内の指定された高齢者施設の他、幼稚園・保育園・介護予防リーダー活動等、52機関（令和2年3月現在）。 ・ボランティアポイント説明会は、コロナの影響により4～6月は中止した。 ・現在、コロナ禍での受入施設は、15施設となっている。	50機関
				②新規登録者数	50人	16人	78人		50人
				③登録者数	500人	477人	478人		500人
	地域リハ ビリ テー ション 活動 支援 事業		リハビリテーション専門職を住民運営の通いの場（サロン等）へ派遣することで、介護予防に関する知識の習得・筋力維持のための体操等を実施し、参加者の状態に応じた指導・助言を行う。 ※サロンや自主グループへの支援は、元気塾のリハ職を派遣 ※近トレへの支援は、登録されている地域のリハ職を派遣	①派遣回数（サロンおよび自主グループ）	40回	1回	14回	・令和2年度の登録リハビリテーション専門職は、50人（18機関） ・令和2年4月～6月は、感染拡大防止のため、予定されていたリハ職派遣は中止。 ・休止している通いの場が多いため、令和2年度のリハ職派遣も減少している。	38回
②派遣回数（近トレ）				72回	7回	61回	62回		
③延べ参加者数（サロンおよび自主グループ）				--	8人	187人	--		
④延べ参加者数（近トレ）				--	43人	606人	--		
近所de元 気ア ップ トレ ー ニ ン グ （ 近 ト レ）		「元気アップ体操」を共通のツールとして、住民運営の通いの場で人と人とのつながりを通じて、地域の支え合い活動に発展していくような地域づくりを推進する。 地域への広報や立ち上げ・継続支援は第2層生活支援コーディネーターや地域包括支援センターとともに実施する。※生活支援体制整備事業として実施し地域での拡充を目指す。	①箇所数	49箇所	41箇所	39箇所	・41団体のうちサロン登録しており、かつ報告書提出済みの団体の数のみ計上 ・令和2年度の目標箇所数については年度当初49箇所であったが新型コロナウイルスの影響で年度途中で目標値が42箇所に修正された。	48箇所	
			②実施回数	--	486回	1280回		--	
			③延べ参加者数	--	3749人	12,771人		--	
介護 予防 ・ 生活 支援 サ ー ビ ス 事業	通所型短期集中予 防サービス（元 気 塾）	リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士）による運動機能向上、認知症予防、口腔・栄養機能の向上のプログラムを実施し、身体機能の改善を図る。 事業の前後で生活機能評価等を行い、事業終了後は地域介護予防教室等、地域の多様な活動につなげ、地域で自立して健康的に生活できる期間を延ばす。 対象は、要支援1・2の認定を受けた方と、事業対象者。 週2回、4ヶ月間通所する。	①利用者実数	170人	43人	104人	・③～⑦は令和2年4～11月の利用者43人のうち、途中退所3人と延長利用となっている1人を除く39人のデータである。 ・退所理由：肺炎により死去 体力低下によるデイサービス利用へ変更 緊急入院後による区変（要介護3） ・③が前年度より向上しているのは、休止期間に目標の見直しを行ったケースや、フレイルになる前にリハ職が早期に介入出来ていたことが影響していると考えられる。 ・④が前年度より悪化しているのは、自粛期間中により通いの場が休止してしまっていたことが原因として考えられる。	170人	
			②利用者のべ人数	--	1151人	2123人		--	
			③個別の目標達成割合	8割	88.4%	75.0%		8割	
			④地域活動など維持・向上のための活動への提案・つなぎ	7割	65.1%	72.0%		7割	
			⑤5m最大歩行速度レベルの維持・向上	8割	87.2%	77.0%		8割	
			⑥主観的健康観の維持・改善割合	8割	74.4%	67.0%		8割	
			⑦基本チェックリスト25項目計維持・改善	8割	89.7%	83.0%		8割	
	住民主体による訪 問型サービス	多摩市社会福祉協議会、シルバー人材センター、NPO法人等に登録している市の研修を修了した生活サポーターが、日常生活に必要な家事等を利用者とともに行うことで、その利用者が可能な限り居宅において生活機能を維持または向上することを目指す。 対象は、要支援1・2の認定を受けた方と、事業対象者。 週1回 60分/回以内 または、同行支援は90分/回以内 内容は、掃除、洗濯、食事の準備や調理、買い物同行支援等の家事	①利用件数	4,716件	1,137件	2,307件	・令和元年度、多摩市生活サポーター事前説明会 21人参加、多摩市生活サポーター養成講座31人参加、フォローアップ研修会35人参加した。 ・令和2年度の事前説明会9月実施（14人参加）、養成講座10月～11月実施（17人参加）、フォローアップ研修会11月実施（33人参加）。	3,066件	
②利用者実数			125	72人	87人	84			
③利用者延べ人数			延べ1,332人	延べ338人	延べ682人	延べ 876人			
介護 予防 の ア マ ネ ジ メ ン ト		介護 予防 ・ 生活 支援 サ ー ビ ス 事業の実施状況を把握する。		介護 予防 の ア マ ネ ジ メ ン ト 実施件数	--	3,594件	6,112件	--	